

令和元年度事業報告書

I 概要

6月に初めての定時評議員会を開催し初年度の事業報告及び収支決算報告が無事承認され、その後伊達市への現況報告書等は電子開示システムを通じ報告、また今年度より制度化された障害福祉サービス等情報の公表についても指定システムを通じ県へ報告し、社会福祉法人として一連の責任を果たすことができた。

また、7月にホームページを開設し事業運営の透明性を図るとともに、福利厚生センターへの加入や中小企業退職金共済制度の利用開始等職員の福利厚生の向上や労働環境の改善に努めた。

なお、主たる事業である障害福祉サービス事業は、伊達市周辺の地域福祉の一翼を担うとともに、利用者数も増え地域で生きる障がい者の就労の場及び日中活動の場等として定着してきている。工房ひろせにおいては3年連続で平均工賃月額3万円を達成し、さくらでは定員を超える利用契約数となっている。併せて福祉サービス利用の相談支援の件数も着実に伸びているところである。

さらに、今年度は5月に平成から令和となり、10月には消費税率のアップに伴う一部報酬額の変更や新たな加算制度の導入等があった。負の面として台風19号の被害や年度末急に発生したコロナウィルス禍に見舞われたものの、施設の利用率は安定し2年目も黒字決算となった。

II 経営体制の整備

1 評議員会

	開催日	決議・協議事項
第1回 (定時)	令和元年6月14日	○平成30年度事業報告 ○平成30年度収支決算報告及び監査報告
第2回	令和元年11月25日	○令和元年度中間経過報告 ○令和元年度第1次補正予算 ○報告事項
書面議決	令和2年3月27日	○令和2年度事業計画 ○令和2年度収支予算書

2 理事会

区分	開催日	決議・協議事項
----	-----	---------

第1回	令和元年5月22日	<ul style="list-style-type: none"> ○平成30年度事業報告 ○平成30年度収支決算報告及び監査報告 ○評議員選定・解任委員会委員の選任 ○令和元年度定時評議員会の開催について
第2回	令和元年11月12日	<ul style="list-style-type: none"> ○令和元年度中間経過報告 ○令和元年度第1次補正予算 ○職員退職金共済事業について ○有期契約従業員就業規則の一部改正について ○令和元年度第2回評議員会の開催について
第3回	令和2年2月18日	<ul style="list-style-type: none"> ○就業規則及び有期契約従業員就業規則の一部変更について ○新規事業への取り組みについて ○事業運営報告
第4回	令和2年3月12日	<ul style="list-style-type: none"> ○令和2年度事業計画 ○令和2年度資金収支予算書 ○令和元年度第3回評議員会の開催について ○高子地区福祉事業所整備に係る指名競争入札について ○報告事項

3 運営会議（毎月開催）

- ・各事業所の管理者及び係長で構成し、運営状況の確認や今後の課題等についての協議を行った。

4 財務諸表等電子開示システム利用開始（6月）

- ・現況報告書等所定の報告事項を独立行政法人福祉医療機構の電子開示システムを通じて所轄庁の伊達市に報告した。

5 障害福祉サービス等情報の公表（7月）

- ・独立行政法人福祉医療機構が運営する「公表システム」を通じ県へ報告した。

6 ホームページの開設（7月）

7 第1回「ひろせ祭り」の開催

- ・7月28日ボランティア3団体の協力を得て、梁川福祉会館を会場に実施した。
- ・参加者総数189名（利用者77名、家族39名、ボランティア20名、地域住民15名、役職員37名）

8 福島労働基準監督署による定期調査（工房ひろせ…12月）

9 掛田ホーム指定更新申請（3月）

III 障害福祉サービス事業の経営

1 就労継続支援B型事業所「工房ひろせ」

○利用者の働きたいという意欲を十分に尊重し、その人に合った生産活動の場を提供するとともに、更なる工賃向上を図るため新規事業の開拓や自主生産品の開発に努めてきた。

○利用定員 40名（年度末現員36名）

○職員体制 15名（兼1）

管理者（1）、支援係長兼サービス管理責任者（1）、副主任支援員（1）、目標工賃達成指導員（1）、生活支援員（3）、職業指導員（2）、パート職業指導員（5）、事務員（兼1）

○昨年度に引き続き以下の作業を行った。

- ・自主生産品（アスパラ、ボンセンべい、野菜、エゴマ製品）
- ・委託販売（卵、野菜、こんにゃく）
- ・下請け作業（プリンター部品組み立て、箱折り、コピー配達、その他）
- ・施設外就労（農業、アパート清掃、福祉センター2か所の清掃）
- ・農福連携事業（エゴマの植え付け）
- ・その他（福祉会館の運営管理等）

※施設外就労の農業は9月で契約終了、梁川福祉会館は台風19号被災により11月から営業停止状態となっている。

○福島県授産振興会「施設新商品コンクール食品の部」にて、えごまドレッシング銀賞受賞する。（2月）

○FGAP 認証（野菜…アスパラ）される。（3月）

○年間利用者数（定員40名・現員36名）

期 間	定員	営業日数	延べ営業日数	延べ利用者数	利用率
上半期	40	134	5,360	4,376	81.6%
下半期	40	135	5,400	4,367	80.8%
年 間	40	269	10,760	8,743	81.2%

○目標平均工賃3万円を達成し、32,828円になった。

平成29年度	平成30年度	令和元年度
32,814円	33,426円	32,828円

2 生活介護事業所「さくら」

○利用者の特性を踏まえその有する能力に応じて、その人らしい生活を営むことができる

よう日常生活の支援、創作活動または生産活動の機会の提供等を行った。

○利用定員 20名（年度末現員27名）

○職員体制 16名（兼1）

管理者（1）、支援係長兼サービス管理責任者（1）、副主任支援員（1）、生活支援員（7）、パート生活支援員（4）、パート看護師（1）、事務員（兼1）

嘱託医師（仁泉会梁川病院院長 今野 明医師）

○年間利用者数

期 間	定員	営業日数	延べ営業日数	延べ利用者数	利用率
上半期	20	134	2,680	2,449	91.3%
下半期	20	135	2,700	2,669	98.8%
年 間	20	269	5,380	5,118	95.1%

3 外部サービス利用型共同生活援助事業所「掛田ホーム」

○地域において共同して自立した日常生活又は社会生活を営むことができるように、相談や支援を行った。

○利用定員 6名（年度末現員 5名）

○職員体制 7名（兼2）

管理者（兼1）、サービス管理責任者（兼1）、世話人（5）

○障害者総合支援法に基づく福島県による実地指導を受ける。（12月）

○夜間支援等体制加算を受給する。（12月～）

○年間利用者数（9月に1名入居し5名となった。）

期 間	利用定員	利用延べ日数	利用率	期末現員
上半期	6	671	61.1%	5
下半期	6	969	88.2%	5
年 間	6	1640	74.6%	5

4 相談支援事業所ひろせ

○地域の障がい児者が日常生活又は社会生活を営むことができるように、福祉サービスの利用援助、社会資源を活用するための相談支援等を実施した。

○職員体制 2名（兼1）

管理者兼相談支援専門員（1）、相談支援専門員（兼1）

○年間相談件数

①計画相談支援

期 間	相 談	訪 問	来 所	電 話
上半期	343	139	31	173

下半期	388	204	47	137
年間	731	343	78	310

②障害児相談支援

期間	相談	訪問	来所	電話
上半期	243	99	39	105
下半期	218	95	29	94
年間	461	194	68	199

IV 公益事業の実施

- 日中における活動の場を提供することにより、障がい者や障がい児の家族の就労支援及び日常介護している家族の一時的な負担軽減を図った。
- 4市町（伊達市、福島市、桑折町、国見町）と利用契約を締結した。
- 年間利用者数

	伊達市	福島市	桑折町	国見町
利用者数	13	2	3	2
利用者述べ日数	1,273	30	664	73

V サービスの向上と人材育成

1 サービスの向上に向けた取り組み

○権利擁護の推進

- ・職員倫理綱領自己チェックを実施し職員に意識の再点検を行った。（4月、10月）
- ・虐待や人権侵害の防止に関する研修を実施した。（8月26日）

2 人材の育成

- 研修基本計画を作成するとともに、研修履歴カードに基づき計画的に職員を各種研修に派遣した。
 - ・階層別研修（キャリアパス対応）（1名：チームリーダーコース）
 - ・キャリアパス制度評価実務者研修（2名）
 - ・専門・課題解決研修等への参加
 - ・各種関係団体主催による研修への参加
- サービス管理責任者養成研修（1名）
- サービス管理責任者等更新研修（3名）
- 内部研修（事故防止、感染予防）

VI 賃金体系の見直しと労働環境の改善

1 賃金体系の見直し

- 処遇改善手当の継続支給を行った。(手当として毎月及び年度末)
- 特定処遇改善加算受給の申請を行い、10月から該当する職員に当該手当を支給した。
- 掛田ホームの夜間支援等体制加算の受給に伴い、12月より該当世話人に当該手当を支給した。

2 労働環境の改善

- 福利厚生センターへの加入(4月:30名)
- メンタルヘルス研修
 - ・9月13日 17:00～ 梁川福社会館 25名参加
 - ・「職場におけるストレスマネジメント」 講師:臨床心理士・公認心理士 内山清一氏
- 中小企業退職金共済の契約(3月:9名)

VII 施設整備状況

- 1 送迎用車両(10人乗り)の購入(7月:赤い羽根共同募金配分金257万円交付)
- 2 Windows7パソコンの更新新規購入(デスクトップ3台、ノート1台)

VIII 台風19号による被害状況

1 工房ひろせ

- 事業所…被害なし
- アスパラハウス6棟・灌水設備…水没 作業用軽トラック1台…浸水廃車
- 運営管理受託施設「梁川福社会館」…床上1m程浸水～閉館状態
- 職員自宅…床上浸水3名
- 利用者自宅…床上浸水1名

2 さくら

- 事業所…被害なし
- 利用者自宅…床上浸水1名、家族(ひろせ職員)と共に当施設に一時避難(2泊)
自宅での入浴可能になるまでの間夜間入浴

3 掛田ホーム

- 事業所被害なし
- 近くの川氾濫の危険性あり、入居者3名・世話人2名掛田中央交流館に一時避難(1泊)する。